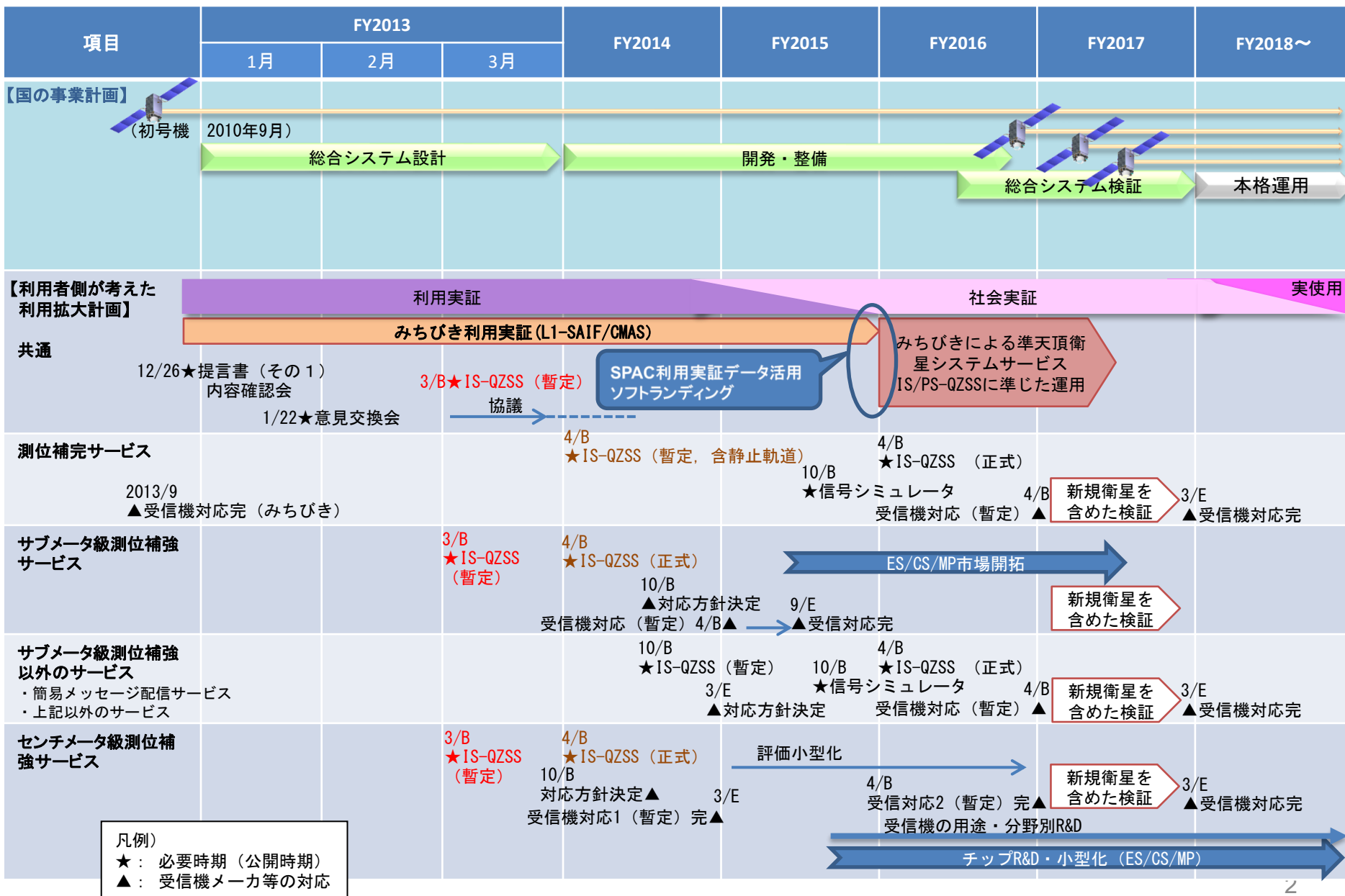


2013年度活動報告

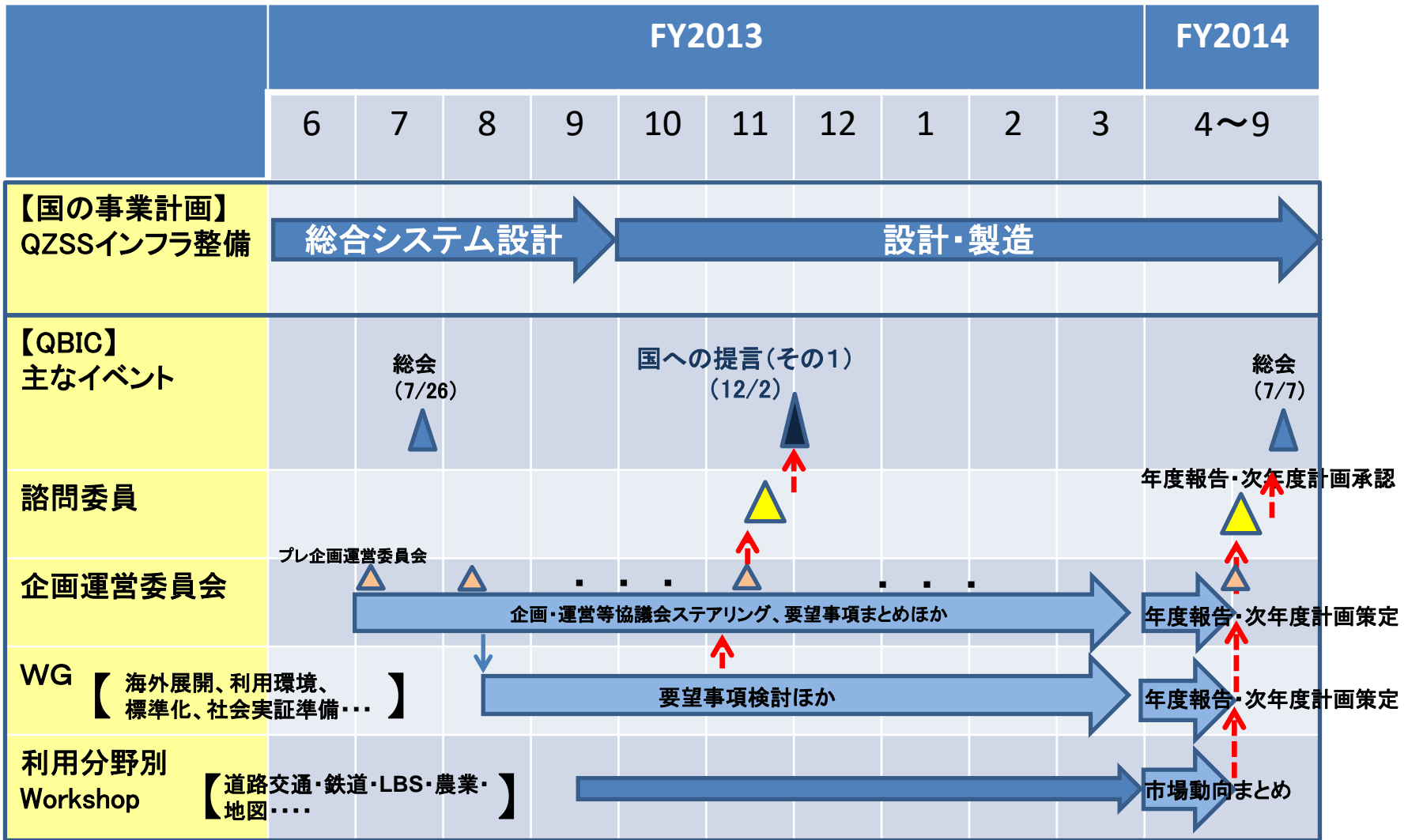
2014年7月
QBIC事務局 (SPAC)

利用ロードマップ (利用者側が考えた利用拡大計画)



凡例)
★: 必要時期 (公開時期)
▲: 受信機メーカー等の対応

2013年度活動報告



活動成果

■ 規約第4条に基づき、以下の活動を実施した。

- ① 高精度測位サービスを利用するためのインフラ、測位受信機、アプリケーション等整備すべき環境の抽出とその環境整備の促進策を検討するため、4つのWG(Working Group:海外展開、利用環境、標準化、社会実証準備)を設置した。
- ② 利用分野毎の共通課題の抽出、阻害する要因の分析、並びにこれらの解決策を検討するため、WS(Workshop:車、鉄道、農業、測量、LBS、防災の領域において開始)を設置し、議論を実施した。
- ③ 上記の検討・議論を集約し、提言書(その1)としてまとめた。
- ④ 国内、国外の市場動向、技術動向、政策方針等について情報交換のためセミナーを開催した。
- ⑤ その他
 - ・ HPの開設
 - ・ QSSとの情報交流等

2013年度活動報告 —WG活動概要—

WG	リーダー	企業等	人数	活動概要
海外展開	磯 尚樹 (株) NTTデータ	44	68	<ul style="list-style-type: none"> ① 海外展開に係る情報共有 ② モデルプロジェクトの構想立案 ③ QZSSへの要望事項の検討と提言
利用環境	青木 尋子 富士通(株)	45	49	<ul style="list-style-type: none"> ① QZSサービスの浸透を図る環境整備 ② サービス信頼性強化 ③ 国内法規制の緩和・整備 ④ 利用を促進する環境づくり 上記4点に関する提言活動
標準化	林 正明 セイコーエプソン(株)	30	42	<ul style="list-style-type: none"> ① 測位環境に対する標準化検討 ② 準天頂衛星を利用したアプリケーション構築環境に関する標準化検討
社会実証準備	松岡 繁 (一財)衛星測位利用推進センター	82	110	<ul style="list-style-type: none"> ① 利用実証・社会実証推進と要望まとめ ② 公開実証テーマの創出取組と推進

※ 企業等、人数は2014年3月31日現在の数値

■ WSの活動目的

領域毎に、QZSS利用促進の活動、利用拡大を行うための施策、QZSSに対する要望等を検討・整理

■ 現状の活動領域

車、鉄道、農業、測量、LBS、防災の領域において開始

■ 活動状況

◆車(ITS-J等)

- ・提言書(その1)提出時に、QZSS情報開示と議論出来る場の提供等を要望
- ・QZSS利用に関する研究会を1回/月程度で設け、特にITS分野における利用拡大の検討を実施

◆鉄道(交通研、JR北海道等)

- ・利用実証を推進し、データ分析を行い、QZSS利用の意義を検討すると共に、要望事項等を今後整理
- ・地方鉄道、路面電車等の利用実証を実施し、データを分析中

◆農業(北大等)

- ・利用実証等を継続し、QZSSに対する要望等を今後整理

◆測量(リアルタイム測位推進協議会等)

- ・関連協議会の中で、QZSS利用を促進するための議論を展開中

◆LBS(G-コンテンツ等)

- ・早急に第1回目の議論する場を設定するスケジュールで開始

◆防災(Shamennet等)

- ・地滑り監視システムの検討とその配備の推進を実施中

提言書(その1)提出後の状況

- ① 提言書(その1)提出 (12/2)
- ② 提言書(その1)内容確認会 (12/26)
 - ・ 参加者:内閣府宇宙戦略室、QSS、QBIC WGリーダー/事務局
- ③ 提言書(その1)に係る意見交換会 (1/22)
 - ・ 参加者:内閣府宇宙戦略室、経産省宇宙産業室、QSS、QBIC WGリーダー/事務局他

【2月～3月】QSS事業計画一部公表(2/12@QSSシンポジウム)、QZSSユーザインタフェース仕様書一部(共通編・測位サービス編)ドラフト版公開(2/26)に対しQBIC意見をまとめ提出

- ④ 「平成25年度の準天頂衛星システムの開発状況」説明会(4/14)
 - ・ 内閣府宇宙戦略室より開発状況についてQBIC事務局に対し説明
 - ・ 宇宙戦略室からQSSへQBICと直接議論して欲しい旨表明
- ⑤ QSSとQBIC事務局との対話(4/17～継続中)
 - ・ QSSとQBIC事務局とで集中討議を実施し、喫緊の課題、更なる情報開示の必要性等を整理、特に喫緊の課題については、早期解決を図るべく深堀を実施中
 - ・ 未公開ユーザインタフェース仕様書等については、早期開示を要望
 - ・ 海外展開方針等国の政策に係る内容は、引き続き意見交換を要望